

## 3 自然観察会

富士山の自然と恵みに触れ、親しむことで、そのすばらしい自然環境を守っていく意識を高めていただくため、川と山の両方で自然観察会を実施しました。その様子を紹介します。

### 1 「富士山の自然と恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会

日時：8月15日(土)9時30分から12時まで

場所：柿田川公園(駿東郡清水町)

参加者：30家族101名

主催：ふじさんネットワーク

案内役：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内容：富士山からの恵みである湧き水で形成された柿田川に直接入る、貴重な機会を設けることができました。

親子で捕まえた生き物を水槽に集め、案内役から名前や生態の解説を受けました。

今回は、ウツセミカジカ、ホトケドジョウ、ミシマバイカモ、ヒンジモといった貴重な絶滅危惧種・準絶滅危惧種をはじめ、サワガニ、オニヤンマといった生きものを観察しました。(捕まえた生き物は、ザリガニなど家で飼育できるものを除いて、すべて川に帰しました。)



親子で一緒に、川の中の生き物を探しました。



案内役から、捕まえた生き物やミシマバイカモの解説があり、参加者の皆さんが熱心に聞き入っていました。

## 2 富士山ガラン沢自然観察会

日 時：10月11日(日)8時45分から16時まで

場 所：富士山自然休養林内 高鉢山～ガラン沢～旧料金所ゲート

参加者：39名

主 催：ふじさんネットワーク

案内役：富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

内 容：富士山の一合目から二合目に当たる、豊かな森林を歩いて自然観察を行いました。道中にはシナノキの大木が多く見られ、キノコも多くの種類が確認できました。

また、平成8年の台風による大規模な倒木の跡が観察できました。案内役からは、「倒木の後にすぐに人が植林をしてしまうと、草⇒低木⇒高木という本来の森林再生のサイクルを省略してしまうこととなり、生物多様性の観点からは疑問である」旨解説がありました。



シナノキの大木



台風による倒木の跡

